

乗鞍岳 23 の峰

(一部立ち入り禁止のエリアがありますので、ご注意ください)

1. 十石山 (じゅっこくやま、または、じっこくやま) (2,524m)

乗鞍火山群の中では最も古い山です。名前は「十石」を意味し、「一石」とは人が1年間に食べる米の量を表す伝統的な尺度です。

2. 大崩山 (おおくえやま、または、おおくずれやま) (2,523m)

「大崩」は、山の侵食や頻繁に落石が発生することから「大崩壊」を意味する文字で書かれています。

3. 猫岳 (2,581メートル)

「猫の峰」を意味するこの山の名前は、まるで山の斜面をまたぐ猫のような形をした岩があることから、「猫岳」と呼ばれています。

4. 硫黄岳 (2,554m)

硫黄の匂いがすることから、この名が付けられました。

5. 四ツ岳 (2,744m)

四ツ岳の元々の名前は、平和な場所を意味する「安場岳」でしたが、山のピークが4つあることから、「四つ」という別名が生まれ、この愛称が定着しました。

6. 烏帽子岳 (2,692m)

この峰は、平安時代(794-1185)の男性貴族が被っていた、尖った帽子(烏帽子)に似ています。

7. 大丹生岳 (2,698m)

山の僧侶で彫刻家の円空(1632-1695)がここで妖怪を鎮めて、近くの魔王岳に追放したと言われています。

8. 大黒岳 (2,772m)

七福神の一人である大黒天と同じ名前の山です。大黒天は富と繁栄を意味し、商人や農民、料理人の守護神とされています。

9. 恵比寿岳 (2,831m)

恵比寿は七福神の一人で、恵比寿は特に漁師に繁栄をもたらすことで知られています。山の火口には亀ヶ池があります。

10. 魔王岳 (2,763m)

1942年、日本軍はこの山に「魔王の山」という意味の、ぞっとするような名前をつけました。陸軍はこの山の斜面で密かに飛行機のエンジンを開発していたので、好奇心の強い訪問者を思いとどませたいと考えていました。

11. 富士見岳 (2,817m)

富士見山の名前は、山頂からの眺めを指しています。晴れた日の南東方向には、南アルプスの斜面の向こうに富士山の頂がのぞいているのが見えます。

12. 里見岳（2,824m）

この名前は「村の景色」を意味し、北西方向に見える集落のことを指しています。

13. 不動岳（2,875m）

かつてはロッククライマーに人気のあった山ですが、現在は岩肌が崩れやすく、登るには危険な山とされています。山頂の不動岩はほぼ垂直に立っており、珍しい地層です。

14. 摩利支天岳（2,873m）

この地域のいくつかの山のように、この山も円空が山頂に寺を建立した際に命名したと伝えられています。現在は、乗鞍コロナ観測所の敷地となっています。

15. 雪山岳（2,890m）（せつざんだけ、または、ゆきやまだけ）

その昔、お釈迦様が訪れたという伝説の山です。

16. 朝日岳（2,975m）

僧侶であり、彫刻家である木喰（1718-1810）は、その名前は「木を食べる」ことを意味し、この地で仏教の修行をしていました。

17. 蚕玉岳（2,979m）

蚕の守護神である蚕玉にちなんで名付けられた山で、現在でも長野県岡谷市などで信仰されています。蚕玉岳の表面は、米粒や豆粒に似た砂礫に覆われています。

18. 水分岳（2,896m）

「みくまり」は「水分」という字の珍しい読み方です。かつてこの山に住んでいたとされる水の神にちなんで名付けられました。水分岳は、日本海側の水路と太平洋側の水路を分ける、分水嶺の一部でもあります。

19. 剣ヶ峰（3,026m）

乗鞍岳の最高峰で、別名「権現岳」とも呼ばれています。山頂付近には、西に乗鞍本宮、東に朝日権現の2つの神社があります。

20. 大日岳（3,014m）

乗鞍岳で2番目に高い山です。山頂のすぐ下には、木喰が修行したと言われる「天岩屋」と呼ばれる小さな洞穴があります。

21. 薬師岳（2,950m）

薬師如来は薬と平癒の仏様です。像には、魔法の軟膏の壺を持っている姿がよく見られます。

22. 屏風岳（2,968m）

屏風とは、日本の伝統的なインテリアに用いられる屏風の事です。山頂付近の垂直な崖が屏風に似ていることから、その名が付けられました。

23. 高天ヶ原（2,829m）

剣ヶ峰の南東に位置し、環境保護のため立ち入り禁止となっている山です。

=====

乗鞍岳 7つの池

（一部立ち入り禁止のエリアがありますので、ご注意ください）

1. 権現池

日本で 2 番目に高い池で、勾玉と呼ばれるコンマの形をした祭祀のビーズに似ていることから「曲池」とも呼ばれています。

2. 亀ヶ池

亀とは「カメ」を意味します。この池は、凍結と融解を繰り返すことで土壌が六角形になり、亀の甲羅の模様に似ている「亀甲砂礫」が発見されたことから名付けられました。

3. 鶴ヶ池

大黒岳から流れ落ちた土砂が、鶴の湾曲した体のように池を形成しました。

4. 不消ヶ池

厳しい北風に吹かれた雪が溜まり、夏でも雪が残ることから「消えずの池」と呼ばれるようになった氷河湖。この池は、乗鞍岳の施設に必要な飲料水を供給しているため、立ち入り禁止となっています。

5. 五ノ池

五ノ池とは、「五つの池」という意味で、大雨の時に五つの池が一つになることを除けば、その名の通りの池です。

6. 大丹生池

円空が大蛇を鎮めるために 1,000 体の仏像を池に沈め、災いを除いたという伝説があります。

7. 土樋ヶ池

烏帽子岳の西側から流れ出た溶岩が天然のダムとなり、水をせき止めてできた池です。